

キャラクター名  プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	同上
	ブラックドッグ				
オプション		年齢	19	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	嫌悪	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	平凡への憧れ	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	50
肉体	4	0	0			4	行動値	8
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	0	0	1			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
↓コンボ		0				
守ります……!		0		侵7		1+2+3 ガード値+(4d+7d) シーン1回
任せてください		0		侵4		1+3 ガード値+7d
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品		合計装甲:	1	合計回避:	0
コネ: UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	マス	消費
d: 超血統	P	N			
秋宮 龍治	P	友情	N	脅威	
リィナ	P	庇護	N	不安	
	P		N		
	P		N		
	P		N		
	P		N		
	P		N		
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身			
効果: カバーリング。行動済みでも使用可。1メインプロセスに1回。								
電磁障壁	1	2	オート	至近	自身			
効果: ガード値+4d。1シーンに1回。								
磁力結界	7	3	オート	至近	自身			
効果: ガード値+(lv)d								
ペインエディター	4		常時					
効果: HP+(lv*5)。基本侵食値+3								
解放の雷	1	4	メジャー	視界	単体			
効果: 次のメジャー判定のクリティカル値-1。攻撃力+(lv*2)								
自爆装置	1	4d10	オート	至近	範囲		120↑	
効果: HPO時にlv+2Dのダメージ。								
電磁反応装甲	3	10	オート	至近	自身	自動	120↑	
効果: HPダメージ-20。1シナリオにlv回まで								
球電の盾	7	2	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+[lv*2]								
リミットリモール	5	2	マイナー	至近	自身			
効果: HP[lv*2]回復								
セキュリティカット	★	1	メジャー			<RC>		
効果: セキュリティを切ったり施錠のロックを解除								
人間発電機	★		メジャー	至近	単体	<RC>		
効果: 機械に電力を供給する								
効果:								
効果:								

いちのせ じん

幼い頃(5歳の時)にレネゲイドウイルスにかかりブラックドッグのシンドロームが暴走し、両親を殺めてしまう。その後、UGNに保護される。上記の事があり、「力」を使うことに強い抵抗があるが、UGNに保護され過ごしているうちに「力」を守ることに使うようになる。だが、「力」を生物に対して使用(攻撃)することには特に強い抵抗があり、人間に対しては使用(攻撃)することができない。(「力の暴走」で誰かを殺めてしまうことに強いトラウマを持っているため、UGNに保護されてからわずか3年で「力」を制御できるようになった。)

素行もよく、上の命令にも従順で優秀なエージェントだが、人間に対して力を使用できないため、任される任務のほとんどが潜入や調査などの極力力を使わずに済むものが回ってくるように支部長が計らいをかけてくれていた。しかし、4年前(15歳時)に通称「三月事変」が起き、UGN内で大きな人事異動が起こった。そのときにその支部長とは違う支部に飛ばされる。そこでの任務は潜入や調査だけではなく力を使用しなくてはならないものもあったが、これらの任務はいてもいなくても変わらないような実績しか残せていない。(基本的に敵に攻撃することなく味方や自分の守りに徹していて、防御に関して言えば良い方なのだが、ブラックドッグというシンドロームの特性上を考えると攻撃にまわった方が役に立つとUGN側は考えていた)

これを問題視したUGN側は戦いに身を置かざるを得ない状況になれば改善されるのではと結論づけ、三月事件がおきた支部に一ノ瀬を配属した。ここで初めて秋宮と出会う。(18歳のときに配属された)